



第9号(平成31年3月発行)

おいしいとやま食べきり運動

# 食べきり通信

富山市では、家庭や外出時での食べ残しを減らし、おいしい富山の食材を食べきる「おいしいとやま食べきり運動」を展開中です。この号より「たべきりんつうしん」を「食べきり通信」に改称して、食べきるための様々な取り組みや活動などを紹介していきます。

## お持ち帰り用パック配布事業

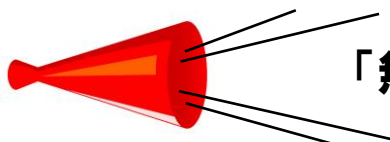
富山市では、平成30年6月から外出時に食べきれなかった料理を持ち帰るための「お持ち帰り用パック」の配布を行っています。配布場所は、「おいしいとやま食べきり運動」に賛同いただいている協力店のうち希望のあった87店舗です。全部で2,750枚のパックを配布しました。

この事業は、お持ち帰り自体を推進するものではなく、料理を「食べきる」ための一つの選択肢として実施しています。この他にも、自主的に、お持ち帰り用パックを用意しているお店もありますので、お持ち帰りを検討される場合は、お店に確認してみましょう。



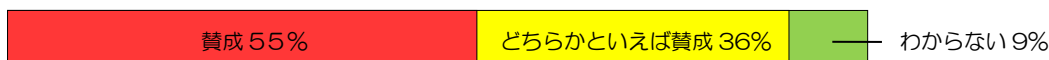
お持ち帰り用パック

### パック利用者の声



「無駄をなくすよい取り組みだ！」  
などのコメントをいただきました。

1. 外出時の食べ残した料理を持ち帰ることについてどう思いますか？



2. どうして料理を持ち帰ろうと思いましたか？



3. お持ち帰りした料理を自宅でどうしましたか？



#### ※注意点※

- パックを利用される場合は、自身の自己責任において、お持ち帰りいただいています。
- お店側は、衛生上の注意事項を十分に説明の上、可能な範囲でパックを提供しています。
- この事業は、消費者庁・農林水産省・環境省・厚生労働省が公表している『飲食店等における「食べ残し」対策に 取り組むに当たっての留意事項』（平成29年5月）等に基づいて衛生面に注意して実施しています。

パックを提供している協力店の声 ※お持ち帰りパックを希望された協力店 2 店舗に、お話を伺いました！

Q1. 料理のお持ち帰りについて、どう考えていますか。

- A1・良いことだと思う。最初から持ち帰れることがわかっていると、「食べ切れないかも」という心配がなくなり、安心して食べられる。  
・夏場は怖いですが、お客さまから申し出があるので、対応している。

Q2. お持ち帰りパックを利用されたお客さんの反応はどうか。

- A2・喜ばれる。高齢層は、食べ物を残すことをもったいないと思う。  
・お子様セットのメニューの残りを持ち帰られるお客さまが多い。

## 「SDGs」と「おいしいとやま食べきり運動」の関係について

サステナブル デベロップメント ゴールズ  
SDGsとは、Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の通称です。「世界中の誰一人取り残さない」をテーマに、2015年9月の国連サミットで採択された2030年までに達成すべき課題と、その具体的な目標を定めたものです。飢餓、福祉、教育などの17分野の目標とそれに伴う169のターゲットから構成されています。

その中で、「おいしいとやま食べきり運動」は、持続可能な生産消費形態を確保することを目的とした、目標12「つくる責任つかう責任」と大きな関わりがあります。

目標12を構成する11つのターゲットのうち、3つ目の「2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。」に該当します。



KNB秋の大収穫祭での啓発

平成30年6月に富山市は、内閣府が選定するSDGsの達成について、優れた取組を提案する自治体「SDGs未来都市」の29都市の1つに選ばれ、さらにその中で特に先導的な取組「自治体SDGsモデル事業」の10事業の1つにも選ばれました。

また、平成30年10月7日に行われたKNB秋の大収穫祭では、「おいしいとやま食べきり運動」と「SDGs」について、SDGs担当課(環境政策課)と一緒に啓発活動を行いました。

### 【「おいしいとやま食べきり運動実行チーム」事務局】

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号 CiCビル3階  
富山市消費生活センター

TEL 076-443-2123 FAX 076-411-9006 <http://tabekiri.jp>